

核家族からソロ社会への変遷： ドイツとの比較の視点から

The Transition from Nuclear Families to a Solo Society : Comparing Japan and Germany



未婚率の増加や少子化に伴い、日本では単独世帯が急増している。一人暮らしというライフスタイルの選択自体に問題があるわけではないが、現行の社会保障制度が「結婚して、子供がいる・同居家族がいる」という前提で作られている中で、単身者の高齢期・終末期をどう支えるのかは重要な課題である。日本と同様に「ソロ社会」への移行が顕著なドイツの事例を取り上げ、従来の家族形成とは異なるセーフティネットが、どのように構築され得るのかを考察する。



参加費
無料

日時：2025 年

12月23日(火) 13:00~14:30

※講演会後、研究懇談会も予定しています

会場：文学部棟 2階 大会議室

発表言語：日本語（質疑応答：日本語・英語）
Language : Japanese (Q&A in Japanese or English)

スピーカー： **豊田 三佳 氏**
Mika TOYOTA

（マックスプランク人間開発研究所 研究員）
専門は社会学。ケア労働者のグローバルな流動、高齢者の移住に関する研究から越境する「弔い」を考察している。
ベルリン在住。

申込方法

QR コードから参加登録

